

| 所在地                                   | 所在市町村等  | 事業実施主体             | 実施年度   | 目標年度  | 目標1                         |    |           |           |           | 目標2     |                 |      |     |      | 事業計画<br>の妥当性 | 適正な事<br>業執行 | 地方農政局長等の所見 |    |   |
|---------------------------------------|---------|--------------------|--------|-------|-----------------------------|----|-----------|-----------|-----------|---------|-----------------|------|-----|------|--------------|-------------|------------|----|---|
|                                       |         |                    |        |       | 目標                          | 単位 | 目標数値      |           |           | 目標      | 単位              | 目標数値 |     |      |              |             |            |    |   |
|                                       |         |                    |        |       |                             |    | 現状        | 目標        | 結果        |         |                 | 達成率  | 現状  | 目標   |              |             |            | 結果 | 達成率   |
| 【甘味資源作物・砂糖製造業緊急対策事業（さとうきび増産推進緊急支援事業）】 |         |                    |        |       |                             |    |           |           |           |         |                 |      |     |      |              |             |            |    |   |
| 沖縄県                                   | 本島北部    | 北部地区さとうきび生産振興対策協議会 | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準まで増産                | t  | 41,426.0  | 45,330.0  | 28,356.0  | -334.8% | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 0   | 6    | 6            | 100.0%      | ○          | ○  | 化学肥料、薬剤購入等に取り組み、生産量を平年水準まで増産、土壌診断面積の増加を目指したが、土壌診断面積のみ目標の達成となった。生産量については、全県的な梅雨明け後の日照不足が要因の減産であるためやむを得ない。引き続き目標達成に向けて取組んでもらいたい。                                |
| 沖縄県                                   | 本島中部    | 中部地区さとうきび生産振興対策協議会 | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 29,392.0  | 34,489.0  | 19,842.0  | -187.4% | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 0   | 6    | 6            | 101.6%      | ○          | ○  | 化学肥料購入等に取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指したが、土壌診断面積のみ目標の達成となった。生産量については、全県的な梅雨明け後の日照不足が要因の減産であるためやむを得ない。引き続き目標達成に向けて取組んでもらいたい。                                 |
| 沖縄県                                   | 本島南部    | 南部地区さとうきび生産振興対策協議会 | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 77,012.0  | 81,442.0  | 57,638.0  | -437.3% | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 0   | 7    | 7            | 100.0%      | ○          | ○  | 化学肥料、除草剤購入等に取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指したが、土壌診断面積のみ目標の達成となった。生産量については、全県的な梅雨明け後の日照不足が要因の減産であるためやむを得ない。引き続き目標達成に向けて取組んでもらいたい。                             |
| 沖縄県                                   | 北大東村    | 北大東製糖株式会社          | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 15,054.0  | 22,355.0  | 28,942.0  | 190.2%  | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 4.7 | 10.7 | 8.2          | 58.3%       | ○          | ○  | 堆肥導入等土づくりに取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指した。生産量については目標を達成することができたが、土壌診断面積は未達成となった。引き続き目標達成に向けて取組んでもらいたい。   |
| 沖縄県                                   | 南大東村    | 南大東村さとうきび生産振興対策協議会 | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 53,921.0  | 59,054.0  | 103,820.0 | 972.1%  | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 2.4 | 8.4  | 8.2          | 96.7%       | ○          | ○  | 病害虫防除に取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指した。いずれの目標についても達成された。  |
| 沖縄県                                   | 伊是名村    | 伊是名村さとうきび糖業振興会     | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 16,568.0  | 20,535.0  | 17,950.0  | 34.8%   | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 0.0 | 6.0  | 5.3          | 88.3%       | ○          | ○  | 化学肥料購入等に取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指したが、土壌診断面積のみ目標の達成となった。生産量については、全県的な梅雨明け後の日照不足が要因の減産であるためやむを得ない。引き続き目標達成に向けて取組んでもらいたい。                                 |
| 沖縄県                                   | 久米島町    | 久米島さとうきび振興協議会      | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 44,456.0  | 55,665.0  | 46,938.0  | 22.1%   | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 0.0 | 6.1  | 6.3          | 103.3%      | ○          | ○  | 除草剤の購入等に取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指したが、土壌診断面積のみ目標の達成となった。生産量については、全県的な梅雨明け後の日照不足が要因の減産であるためやむを得ず、事業計画の妥当性、事業執行についても適切であることから、改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行う。 |
| 沖縄県                                   | 石垣市・竹富町 | 八重山地区さとうきび生産振興協議会  | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 96,855.0  | 129,971.0 | 91,400.0  | -16.5%  | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 2.6 | 6.0  | 5.1          | 73.5%       | ○          | ○  | 化学肥料購入等に取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指したが、いずれも目標未達成となった。生産量については、全県的な梅雨明け後の日照不足が要因の減産であるためやむを得ず、事業計画の妥当性、事業執行についても適切であることから、改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行う。     |
| 沖縄県                                   | 宮古島市    | 宮古地区さとうきび糖業振興会     | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 296,483.0 | 306,285.0 | 246,507.0 | -509.9% | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 0.0 | 6.0  | 0.0          | 0.0%        | ○          | ○  | 化学肥料購入等に取り組み、生産量を増プロ目標値まで増産、土壌診断面積の増加を目指したが、いずれも目標未達成となった。生産量については、全県的な梅雨明け後の日照不足が要因の減産であるためやむをえず、事業計画の妥当性、事業執行についても適切であることから改善計画の作成までは求めないが、次年度に再評価を行う。      |
| 沖縄県                                   | 伊平屋村    | 伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会 | 平成30年度 | 令和元年度 | 生産量を平年水準と比較して増プロH31生産目標まで増産 | t  | 3,578.0   | 5,367.0   | -         | -       | 土壌診断実施面積を6%以上増加 | %    | 0.0 | 6.0  | -            | -           | ×          | ×  | 目標の達成状況を把握することがず、事業計画の妥当性、事業執行について確認が出来ないため、改善計画の作成を求め、次年度に再評価を行う。  |